

釧路市DX推進方針(素案)について

釧路市では、2021(令和3)年度から5年間、「スマートフォンの中に市役所がある」を基本理念とする釧路市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進方針に基づき、情報発信の見直しや行政手続きのオンライン化、RPAやAIの活用、スマートフォン教室やスマート相談員等のデジタルデバイド対策などに取り組んできましたが、引き続き自治体DXの取組を拡大・推進するため、新たな取り組み期間の方針を策定することいたしました。

基本方針と目指す未来像

◆基本方針

笑顔がつながるスマートな市役所

インターネットなどでいつでも、どこでも、つながることができる
便利・快適・効率的なサービスで誰もが笑顔となる
オープンでスマートな市役所

◆目指す未来像

市民が笑顔になるスマートな市役所

いつでも、どこからでも利用できるサービス
市民目線のスムーズな手続き
欲しい情報がすぐに得られる

職員が笑顔になるスマートな市役所

デジタルツールの活用で最適化した業務プロセス
デジタル人材育成や業務改革に取り組む組織風土
デジタル技術を活用した快適で働きやすい職場環境

取組期間

2026(令和8)年4月～2031(令和13)年3月

推進体制

釧路市DX推進本部(釧路市未来創造本部)

市長(本部長)・特別職・部長

政策決定

提案・報告

釧路市スマート自治体推進プロジェクトチーム

◆民間有識者

DXアドバイザー

◆市役所関係部局

情報システム課
行財政改革推進室
企画課
財政課
他

(作業部会)

関係課

➡ デジタル技術の活用による行政サービスの質の向上と業務効率化を図ります。

➡ 期間中であっても技術の進化や社会動向に応じて柔軟に見直しを行います。

➡ DX(デジタル・トランスフォーメーション)

デジタル技術を利用したサービス等で顧客体験価値の変革を図り価値を創出すること。

自治体DXはデジタル技術の活用により住民の利便性向上と業務効率化を図ることを指す。

(総務部情報システム課)